

吉田統括監だより

第6号

皆様こんにちは。地方創生担当統括監の吉田です。

暑さが苦手な私にとって、ようやく過ごしやすい季節になりました。それでも、これ程『暑い』10月は、生まれて初めての経験であり、北緯40度（秋田県北部）と31度（錦江町）の気候差に今更ながら驚いています。多様な気候、地形が多様な文化や生活習慣を生み出した日本の素晴らしさを身を以て実感しています。

さて、本号では次のことについて、町民の皆様を紹介・説明します。

- 1) 錦江町総合戦略改訂版の『戦略』と『戦術』について
- 2) 各自治会での説明会について
- 3) 錦江町『MIRAI』づくりプロジェクトの『総務・経理担当職員』公募について

1) 錦江町総合戦略改訂版の戦略と戦術について

先月号では1年足らずで『総合戦略』を改訂した背景、新たな目標、目指すべき町の有り様について町民の皆様にも説明しましたが、本号では具体的な戦略及び戦術について説明します。

1. 我々が地方創生事業を通じて目指すべき『姿』（前号再掲）

我々は人口減少・少子高齢化による厳しい現実を真摯に受け止め、今まで以上に我慢すべきところは我慢しなければなりません。

その上で、町民と共に現実を乗り越え、希望ある未来づくりの為にステップ年と位置づけます。なお、我々が近未来で目指すべき姿を次の通り明示します。

- ① 住民や移住者が、明日への希望を持ってビジネスや地域づくりにチャレンジできる町。
そして彼らを本気で応援できる町。
- ② なりたいもの、やりたいことがある子供たちが、夢にチャレンジできる町。
そして彼らを本気で応援できる町。
- ③ 住民と移住者による協働で、世界で勝負できる価値創造型ビジネス創りや新たな集落支援ソーシャル活動等にチャレンジできる町。
そして彼らを本気で応援できる町。
- ④ 町民が胸を張って「錦江町に住んでいる」と誇れる町。
誇りとワクワク感に満ちた希望の『MIRAI』が想像できる町。

2. 目指すべき姿に辿り着くための基本戦略

- ① 地域の未来づくりに絶対に必要な土台ともいえるべき町内熱量（前向きさと活動意欲）を引き続き増量させる。
- ② 人口減少に伴い、町内総生産額や町内事業者数、農業生産者数等、合計での経済縮小はどうやっても避けられないが、町内商工事業者・農業生産者あたり税引き後利益と町内企業従事者一人当たり可処分所得を向上させ、やりがいを維持・向上してもらう。
- ③ 町内には存在しない、もしくは現在の世の中には存在しないが、町内の子ども達が憧れ、町内で就職したいと思える『未来志向』のビジネスを都市部の志の高い若者や企業と連携し、少しでも多く生み、根付かせる。
- ④ 町外の人々に、我々の仲間（支援者・半住者・移住者）になってもらい、一緒に町や集落の未来づくりを行う。
- ⑤ 人口減少による集落機能低下を現実的にとらえつつ、様々な手法を駆使して、町民が『支え合い』を実感できる新たな発想による集落支援の仕組みづくりを行う。

3. 基本戦略にもとづいた戦術

- ① 『プロジェクト』を支える土台づくり
- ② 『しごと』づくり
- ③ 『なかま』づくり
- ④ 『ひと』づくり
- ⑤ 『新しい絆』づくり

※第7号では、戦術に関する説明を予定しております。併せて自治会説明会でも詳細を案内しています。